

阿部木谷から毛勝山へ行く

夜明けが早くなった。5時



残雪があります。

地元の片貝小・・・母校です



ここまで自転車をデポ

南又谷・・・途中の「大杉」

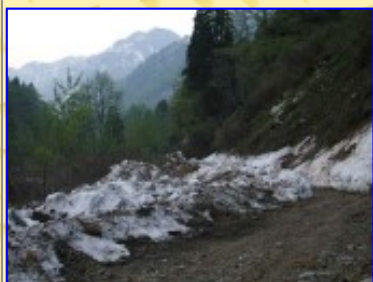


阿部木谷の駐車場より

南又谷発電所



車はここまで・・・宗次郎谷



たくさんの車が・・・



ここから、最終堰堤まで



ここで除雪は終わりです



車はここから通行禁止



雪が解けると・・・このように



この最終堰堤まで・・・



しかし、まだ雪が多い



除雪まで、もう少し・・・



ここから先は、大雪渓



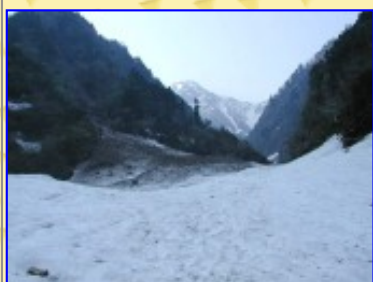
延々と雪渓が続きます



板菱・・・まだ雪が



これから、クレパスが・・・



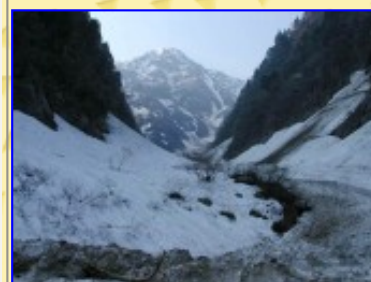
大明神沢出合い



朝はまだひんやり涼しい



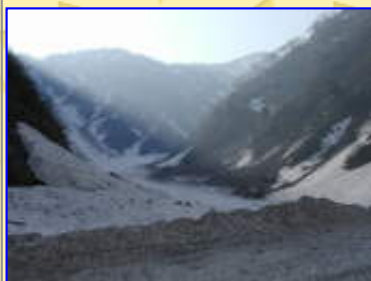
朝日がまぶしい・・・



デブリがなくなりました。



いよいよ急になりました。



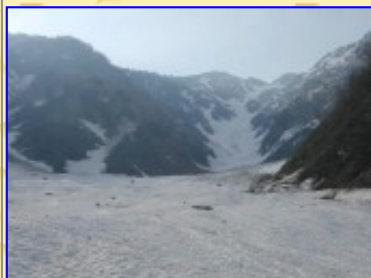
三ノ又から頂上まで750m



ひたすら登るのみ



なかなか前の人に・・・



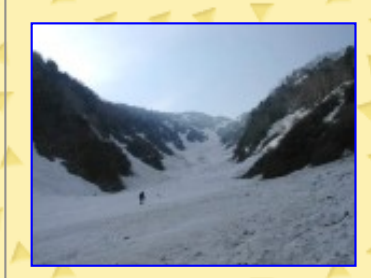
ようやく、追い越しました



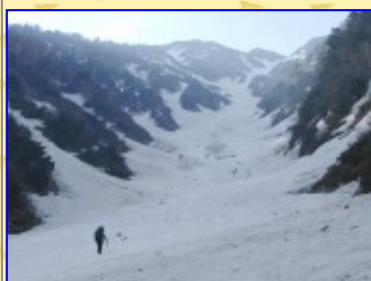
テント泊の登山者です。



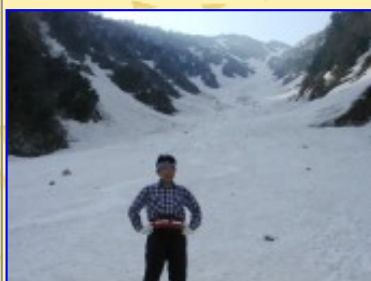
いよいよポーサマ谷



颯爽と登る？お二人



お二人は猫又山まで縦走



最後の急斜面



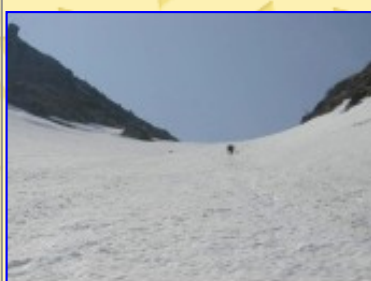
ここは天国の階段か・・・



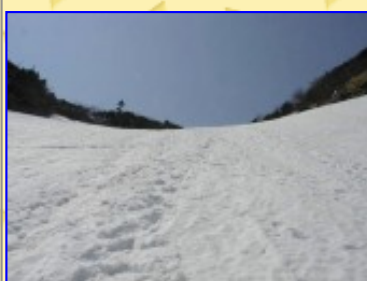
もくもくと登る・・・



ジグザグに登る



ポーサマ谷の鞍部より



稜線より僧ヶ岳を望む



毛勝山頂上を望む



5 / 10 農繁期の忙しい中、天候も良さそうなので満を持して地元の山「毛勝山」へ行くことにしました。

今年は、2月の積雪期から下見をするなど、意欲は充分あったのですが・・・チャンスがありませんでした。

[参考情報](#)・・・[毛勝山・僧ヶ岳偵察](#)・・・[「片貝山荘」へ「クロカンスキーハイク」](#)

一昨年は、猫又山より毛勝山までピストン縦走をしたので、今年は久しぶりに阿部木谷からとっていましたので、ついで三山縦走し、猫又谷を降りる計画を立てました。

[参考資料](#)・・・[猫又山より毛勝山へピストン縦走](#)・・・[春山情報 7号](#)

今回の難関は、なんと言っても、南又谷へのゲートが閉っていること・・・マウンテンバイクを利用することにしました・・・前日の夕方に下見をしたら、閉っていたのですが、当日開いていたので・・・ラッキーです。

「毛勝山」は自分の生まれ故郷でもあるので、今回の春山情報は特に、下記に詳しい紹介をしましたのでご覧下さい。

「毛勝山」・・・自分では、昔から「けかつだけ」だと思っていましたが・・・
剣岳の北方稜線にあるこの「山」は、「剣岳」「後立山」などの展望の素晴らしさからは想像もできないぐらいに知名度の低い山です。

なぜかという、夏になると・・・今回紹介する「板菱」の辺の雪渓の崩落が登山者を寄せ付けないからです。

いわゆる、春のこのシーズンだけの・・・ベテランの登山者のみの山なのです。

この山は、昔、富山県に測量にきたドイツ人の技師「リルケ」が、富山県の河川を見て、これは川ではない、「滝」であると言ったそうですが、富山の中でも、特に毛勝山から流れ出る、片貝川は最も急勾配な一級河川なのです。

日本海からの距離があまりにも近く、山の高さが2414mもあるからです。

したがって、そのトータルの急な勾配を「滝」のようにたとえたのでしょう。

今回の雪渓・・・阿部木谷ー毛勝谷ーポーサマ谷の標高差はなんと1200mもあります。

日本3大雪渓の白馬の大雪山ですら600mぐらいですから、その行程の長さはおよそ倍にもなります。

・・・一気に頂上まで上り詰める爽快さはなんともいえないものがあります。

・・・是非、皆さん、この機会に「毛勝山」へ挑戦してみてください。